2022 年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書

<table>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="2">えぬぴーおーほうじんぺあれんとさぽーとすてっぷ</td></tr>
<tr><td>団体名</td><td colspan="2">NPO 法人ペアレント・サポートすてっぷ</td></tr>
<tr><td>代表者名</td><td colspan="2">安藤希代子</td></tr>
<tr><td rowspan="4">連絡先</td><td>住所</td><td>岡山県倉敷市新田 2463-6</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td>086-431-1651</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td>Parents0322@gmail.com</td></tr>
<tr><td>URL</td><td>https://parent-support-step.jp</td></tr>
<tr><td>設立年（西暦）</td><td colspan="2">2012 年</td></tr>
<tr><td>助成活動名</td><td colspan="2">保護者の居場所「うさぎカフェ」を基盤とした支援機関向け保護者支援コンサルティング・プログラムの開発</td></tr>
<tr><td>助成額</td><td colspan="2">1,500,000 円</td></tr>
<tr><td rowspan="3">活動内容</td><td>目的</td><td>当法人が運営する障がい児の保護者の居場所事業「うさぎカフェ」は開所より6 年目となりコロナ禍であっても年間 700 名弱の保護者を受け入れ、地域の資源として定着しています。倉敷市では新生児（約 4000 人）のうち 17%が発達障害
の特性があるとして福祉サービスを利用しています。2 歳～6 歳の子どものうち17%が障がい児だとすると就学前だけで 3400 人になりますが、当法人が居場所カフェで直接支援できる人数はそのうちの 2 割に留まります。まだまだ繋がるべき保護者は沢山います。最近、事業者の意識も変わり始めており、保育園や放課後等デイサービス、成人施設などから、「保護者支援ができる事業所づくりがしたい」としてコンサルティング依頼が来始めています。そこで、保護者支援のためのコンサルティング・プログラムを開発・普及することで多様な主体による保護者支援を可能にし、法人だけでは手の届かない多くの保護者を支えられるようにしようと考えました。プログラム開発の基盤はうさぎカフェとし、最新の相談事例を取り入れながらオンラインでの相談と各事業所現地での指導を組み合わせて実施することを想定しています。</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>4/6　就労移行支援事業所代表者とミーティング（伴走支援者オンライン同席）
4/22　里庄町放デイ担当者と打ち合わせ（伴走支援者オンライン同席）
5/17　里庄町放デイ担当者と打ち合わせ（伴走支援者オンライン同席）
5/21　就労移行支援事業所で活動
5/27　里庄町放デイ担当者とミーティング
6/1　伴走支援者と打ち合わせ
7/2　就労移行支援事業所で活動
8/18　伴走支援者と打ち合わせ、現地同行
9/17　就労移行支援事業所で活動
10/4　伴走支援者と打ち合わせ（オンライン）
11/14　保育園で打ち合わせ
11/26　就労移行支援事業所で活動
1/7　伴走支援者と打ち合わせ（オンライン）
1/18　保育園で活動
1/21　就労移行支援事業所で活動
2/8　里庄町放デイ担当者と打ち合わせ
2/12 保育園で活動
2/23　保育園で活動
3/4　就労移行支援事業所で活動
3/27　里庄町放デイで活動</td></tr>
<tr><td>成果</td><td>今回、結論から言えば、コンサルティングプログラム開発には、至りませんでした。</td></tr>
</table>

		活動を開始して早々にわかったことは、事業者さんたちは障がい児の保護者支援活動を自事業所の活動に取り入れることのメリットをはっきりとは感じられていない、ということです。メリットを感じられていないのに、コンサルをしますというのには無理があります。そこで、当初よりも目標を下げ、まずこの1年は私たちが関わることで事業者さんが「保護者の支援って大事だな」と思ってもらえることを目指すことにしました。 ① **就労移行支援事業所に関して**　2カ月に1度、就労移行支援事業所irodoriさんに出向き、事業所が営む古書店を使って、利用者の方や、その保護者の方にも手伝ってもらいながら、カレーやラーメンなどの食べ物をふるまうオープンな企画をしました。そこは、障がい児の保護者の方たちも含め、近所の人など様々な人が来所し、交流する場となりました。利用者の保護者の方たちは、ふだんは我が子がどのように過ごしているかを目にする機会はほとんどありませんが、その時は、生き生きと活動している姿を見ることができ、安心につながったようでした。飲食のふるまいが済んだあと、座談会をし、事業所の職員さんたちにも同席をしてもらったところ、保護者の方が弱音を言い涙されることがありました。後で職員さんたちから「あの方が泣かれたことに驚いた」という感想があり、事業所職員の前では保護者は本音を必ずしも言えないということを理解された様子でした。その後、何度も活動をし、そのたびに座談会を開催したところ、保護者の方たちが集まることやおしゃべりすることを楽しまれる様子が見えてきました。座談会があるごとに職員の方と振り返りをして行ったところ、年度の終わりには「これで最後にしないで欲しい、ぜひ今後も来て、保護者の支援について学ばせてほしい」と職員の方から声が上がり、次年度についても引き続き伺わせていただくお話となりました。 ② **保育園に関して**　「くじら保育園」という認可外保育園のお手伝いをさせていただくことになりました。まだ始まったばかりの保育園に対し、いきなり「保護者支援活動をしてください」と言うのではなく、まずは集客のお手伝いをすることにして、チラシ作成などをレクチャーすることにしました。その上で、集客の手段として「お話会」を開くことを提案し、2月に、保育園利用を考えている方や既に一時保育などで利用されている方向けにお話会を企画・実施させてもらいました。保育園の園長先生は保護者がとても喜ばれたので、ぜひまた来てほしいと言って下さり、次年度も伺うことになりました。 ③ **里庄町放課後等デイサービス「ぽかぽか」に関して**　里庄町で新たに社会福祉協議会が運営する放デイが2023年4月に開所することになり、そこの責任者になる予定の方から、保護者支援を重視した放デイにしたいので、力を貸してほしいと依頼がありました。年度初めこそミーティングを何度か持ったのですが、その後、多忙な様子でなかなか連絡が取れず、このまま立ち消えになるのかと思われました。しかし、年末にまた連絡があり、ようやく諸々のめどが立ったとのことで来所され、今後、放デイの運営や、保護者支援活動をどのように行っていきたいかという希望を聞かせていただくことができました。その時のお話では、当初の予想とは違い放デイ開所までは準備で手一杯の様子で、実際に関わらせていただくのは次年度になりそうな見通しでした。しかしぎりぎり3月に、開所前段階で職員に保護者との関わり方を教えて欲しいと依頼があったため、里庄町に伺わせていただき、職員の方たちに保護者支援の考え方や実際の関わり方についてお伝えすることができました。そして、次年度も引き続き保護者支援活動について力を貸してほしいとお話をいただきました。
今後の課題と対応策	私たちは事業所へコンサルティングを行うことで、より多くの保護者が、支援の手と繋がれるのではないかという仮説を立てて今回の事業に取り組みました。しかしコンサルという形をとるのは時期尚早というか、そもそも有効な打ち手ではないのかもしれないというのが、1年活動してみて得た率直な感想です。そもそも保護者支援とはコンサルをするようなものではなく、もっとハードル低く、エッセンスとしてそれぞれの支援の場にともに存在する形であるほうが、地域に浸透していくのかもしれません。今後はまず、様々な立場の人に保護者支援活動を事業に取り入れたい、取り入れる必要があると考えてもらえるように、成功体験を感じられるような場面を数多く創っていくことに力を入れて行こうと思います。今後の展開として①今回の1年間でご縁ができたところとタッグを組んで更に	

	保護者支援活動を進めていく②①の経験をもとに現在受けている行政委託事業を拡充していく、③より多くの保護者にリーチできるよう、まちづくりの一角に位置取りをする、といった形を考えいます。①に関しては今回ご縁をいただいた３か所それぞれに引き続きうかがわせていただき保護者支援活動を進める予定となっており、②に関しては、行政とともに、新しい保護者支援の連続講座を始めました。③については先日、アリオ倉敷内で保護者支援カフェを実施するという試みをし、好評を得たので、今後も続いていく可能性が高くなっています。 この１年間、助成金という応援を得てチャレンジをさせていただいたおかげで、保護者支援活動を広げる形を様々に模索し、新たな形へのヒントをたくさん得ることができました。トライアンドエラーの機会をくださったことに心より感謝しております。
写真の提出	①　就労移行支援事業所 irodori での活動の様子 事業所の利用者さんや職員さん、保護者さん、みんなでぶっかけうどん屋さんをした時の写真 食べに来られたお客さんたちとコミュニケーション 就労移行支援事業所ではイベントセットでの活動でした。毎回、イベントが終わってから事業所利用者の保護者さんたちとゆっくりお話をしました。毎回、必ず職員さんたちにフィードバックを行いました。 ②　くじら保育園での活動の様子 保育園でのお話会 チラシ作りやSNSの発信についても指導させていただきました

③　里庄町放課後等デイサービスでの活動の様子

職員さんたち向けのお話をさせていただきました。
事業所として、今後どのように保護者支援活動を展開させていくかについても、相談に乗らせていただきました。